

# 「がんばれ！」と力強い激励も

## JALと旧社保庁の不当解雇撤回を

JAL不当解雇とたたかう愛媛労働組合と全厚生不当解雇撤回会と四国闘争団は1月17日、



JALの不当解雇撤回と争議への支援を訴える林さんと国鉄四国トレインズ（1月17日、松山市）

ことしの初宣伝を松山市の城山公園東口（県庁側）で実施。国鉄四国トレインズのうたごえの支援も

あり、昼休み中の市民が足を止めて対話になったり、「がんばれ！」と力強い声がかかるなど、温かい激励がありました。

重見幸春支える会事務局長、JAL被解雇者労働組合（JHU）の大池ひとみ書記次長と林恵美さん、全厚生不当解雇撤回四国闘争団の児島文彦トレインズと児島さん



団長の4氏が訴えました。故について触れ、乗客・重見事務局長は「JAL乗員の命を最優先に考え」と旧社保庁の不当解雇を「絶対安全」の方針に撤回を求める二つの争議立ち返り、解雇問題を解決のためにご理解と支援を」と呼びかけました。

林さんは、羽田空港の日航機と海保機の衝突事

業」と同じ位置づけだと

して、「パイロット、整備士、管制官、運航管理者、気象予報官などの職種は、いずれも国家資格者ですが、乗客の命を直

接救う客室乗務員だけは

国家資格がなく、大変遅

れています。諸外国では、ほとんどが国家資格者です。私たちは、40年前から客室乗務員を国家資格者にするよう求めてきましたが、いまだに実現していません」と訴えました。